

介護職員等処遇改善加算にかかる情報公開（見える化要件）

令和 6 年度介護報酬改定により、旧介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算が一本化され、新加算である「介護職員等処遇改善加算」が創設されました。

当社におきましても、計画的な賃金改善、研修機会の提供、地域交流等を行い、加算の算定要件を満たしていることから、介護職員等処遇改善加算Ⅱを取得しております。

当該加算を算定するにあたり、以下 3 つの要件を満たしている必要があります。

- A 現行の介護職員処遇改善加算（Ⅰ）から（Ⅲ）までを取得していること。
- B 介護職員処遇改善加算の職場環境等要件に関し、複数の取組を行っていること。
- C 介護職員処遇改善加算に基づく取組について、ホームページへの掲載等を通じた見える化を行っていること

C の「見える化」要件とは 2020 年度からの算定要件で、介護サービスの情報公表制度や自社のホームページを活用して、新加算の取得状況、賃金改善以外の処遇改善に関する具体的な取組内容を公表していることです。

この要件に基づき、当社における処遇改善に関する具体的な取り組み（賃金以外）につきまして、以下の通り公表いたします。

【加算の取得状況】

処遇改善加算Ⅱ

【職場環境等要件等、賃金改善以外の改善の内容】

① 入職促進に向けた取組

- ・法人や事業所の経営理念やケア方針、人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
- ・事業者の共同による採用、人事ローテーション、研修のための制度構築
- ・他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
- ・職業体験の受け入れや地域行事への参加、主催等による職業魅力度向上の取り組みの実施

② 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- ・働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
- ・研修の受講やキャリア段位制度と人事考課の連動
- ・エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入)

- ・上位者、担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保

③ 両立支援・多様な働き方の推進

- ・子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
- ・職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
- ・有給を取得しやすい雰囲気、意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で取得状況を定期的に確認し、身近な上司等から積極的な声掛けを行っている
- ・有給休暇の取得促進の為、情報共有や複数担当制度等により、業務の属人化解消、業務配分の偏りの解消を行っている

④ 腰痛を含む心身の健康管理

- ・業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
- ・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施
- ・短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断、ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
- ・事故、トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備

⑤ 生産性向上のための業務改善の取組

- ・現場の課題の見える化を実施している
- ・5S 活動等の実践による職場環境の整備を行っている
- ・業務手順書の作成や、記録、報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている
- ・介護ソフト、情報端末の導入
- ・介護ロボット、又はインカム等の職場間の連絡調整の迅速化に資する ICT 機器の導入
- ・業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に間接業務がある場合、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等も行う
- ・各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行う ICT インフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、共同化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施

⑥ やりがい

- ・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
- ・地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施
- ・利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
- ・ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供